

公開企画セッション：だれでも参加できます（入場無料）

デジタルアーカイブ学会 第8回研究大会 企画セッション

デジタルコンテンツ活用のために必要な人材をどう育てるか ～石川県を事例として～

■ 実施概要

日時：2023年11月10日（金）15:40-17:40

会場：石川県立図書館（石川県金沢市小立野2丁目43-1）・だんだん広場

主催：デジタルアーカイブ学会

その他：誰でも参加できます・参加費無料。飲食OKです

石川県立図書館



アクセス



だんだん広場



デジタルアーカイブ学会
第8回研究大会



■ 概要：

デジタルコンテンツを真に活用しようとする、デジタルアーキビストを養成するだけでなく、デジタルライブラリアンであったり、データサイエンティストであったり、様々な分野の人材がかかわることは必須です。本企画セッションでは、デジタルコンテンツを真に活用するために必要な人材をどう育て、働く場を確保するかという課題について、これまでの人材養成・活用検討委員会（井上透委員長）の検討事項を基に、実際に役立つ人材の育成および人材の活用について議論します。また、実現可能な人材育成構想の事例として、石川県内の全ての高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）の連合体である大学コンソーシアム石川の活用を考えてみたいと思います。

石川県は加賀百万石の伝統文化を引き継ぎ、また、先の戦災を免れたこともあり、全国的にみても稀にみる歴史的文化的な資料の宝庫です。しかしながら、それらのデジタル化やデジタル化された資料の活用は途上であると言わざるを得ません。当学会を金沢で開催するにあたり、デジタル化やデジタル化されたコンテンツの活用に必要な人材の地元での育成、および、活用の事例を県民の皆さんと共に考えたいと思います。平日開催ではありますが、入場無料ですので奮ってご参加ください。

■ 登壇者

・基調報告：井上透【デジタルアーカイブ】 岐阜女子大 教授（人材養成・活用検討委員会委員長）

・ポジショントーク：

飯島泰裕【情報社会論】

青山学院大学 教授

宮田一乗【デジタル映像処理】

北陸先端科学技術大学院大学 教授

下川雄一【建築情報】

金沢工業大学 教授

堀井洋【情報システム】

合同会社 ANAME 代表社員

・モデレータ：井上透

企画担当：金沢大学 高田良宏、TRC-ADEAC 田山健二